

平成27年度 管内復興教育担当者研修会

実践発表

「いわての復興教育副読本
の活用」

奥州市立玉里小学校

教諭 千葉 芳恵

もくじ

- 1 本校の復興・防災教育計画
- 2 復興教育副読本活用の位置づけ
- 3 各教科・領域との関わりと復興教育副読本の活用
 - 4年生 社会科「安全なくらしとまちづくり」 玉里地域安全マップをつくろう
 - 3年生 道徳「おじいちゃんおばあちゃん見ていてね」
 - 6年生 特別活動「修学旅行」東松島
- 4 防災教育・安全教育と復興教育副読本の活用
 - 防災教育講演会とワークショップ
 - 避難訓練
 - 集団下校訓練
- 5 日常活動と復興教育副読本の活用
- 6 復興教育副読本の活用を振り返って

「いわての復興教育」の推進 平成27年度 学校教育指導指針

(1) 「いわての復興教育プログラムに基づく教育活動の推進

- 各学校は、「いわての復興教育プログラムに基づき、復興教育を学校経営に位置づけ、「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を確保する」ために、3つの教育的価値【いきる】【かかわる】【そなえる】を育てる。
- 各学校は、「震災津波の風化を防ぎ、教訓を後世に語り続けていく」ための学習や活動を計画的に実施する。

(2) 「いわての復興教育」副読本の活用

- 各学校は、副読本の効果的な活用方法を研究するとともに、その成果を互いに交流し合い、活用の充実を図る。

(3) 地域と連携した防災教育の推進

- 学校防災体制を確立し、児童生徒が自然災害の危険から、自らの命を守り抜くために必要な「主体的に行動する態度」の育成に取り組む。
- 学校・家庭・地域が連携し、地域安全で防災に対する意識を高め、安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上を図る。

支え 支えられ つながっていく

ひとつづくり

1 本校の復興・防災教育について

平成26年学校を市民に公開する日

【2時間目：道徳「復興教育
・校長先生の講話」】



復興教育副読本 P42



2 復興教育副読本活用の位置づけ

復興教育 全体年間指導計画												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事	卒業式 入学式 身体測定 道徳訓練 交通安全教室 防災訓練	引き渡し訓練 基句/ハレード クリーン作戦 運動会	自転車大会 プール開き 授業参観・教育講演会	宿泊学習 社会科見学 とも学び 集団下校訓練 1学期終業式	2学期始業式 水泳記録会 着衣泳	避難訓練 三世代際交流 地区敬老会 交通安全教室	修学旅行 学習発表会 江刺区音楽会 マラソン大会	進科検診 学校を市民に公開する日	2学期終業式	3学期始業式	健診び大会 6年生を送る会	防災教育講話 修了式 卒業式
各教科指導	社会科「岩手県をみる」 生活科「玉里の地域をみる」		社会科「岩手県の施設見学」 生活科「奥州市の施設見学」 音楽「奥州市の施設見学」	とも学び「東中地区の友達と一緒に学習しよう」	体育「着衣泳で自分の命を守ろう」	社会「東北地方の歴史を知ろう」	社会科等「学習したことを発表しよう」 音楽「一緒に発表しよう」 体育「体を鍛えよう」					
道徳教育	命の重さはみな同じ 3-(1)生命尊重	命がないと始まらない 3-(1)生命尊重	土石流の中で救われた命 2-(5)尊敬感謝	白神山地 4-(7)郷土愛		コースチャぼうやを教え 3-(1)生命尊重	おばあちゃんのさがしもの 4-(5)家族愛	お母さんへの手紙 3-(1)生命尊重	親から子へそして孫へと 4-(7)郷土愛	東京大空襲の中で 3-(1)生命尊重	ハトンをつなげ 4-(6)愛校心	新しい日本に 4-(7)愛国心
総合的な学習の時間		江刺基句を全校で取り組もう	自転車大会で地域の方とふれあおう			昔の遊びを教わろう 福の文化を伝承しよう	江刺基句発表会をしよう	リンゴの学習感謝の会 お米の学習感謝の会 江刺基句の先生に習おう	リンゴをしよう お米をしよう 江刺基句の引き継ぎをしよう			
特別活動 (児童会・学級活動)	最上級生としての自覚 上級生になって	児童会と自分の役割									お世話になった方々に感謝を伝えよう 命を大切に (性教育)	
防災教育	避難訓練 交通安全教室	引き渡し訓練	避難訓練(不審者)	集団下校訓練		避難訓練					避難訓練	防災教育講話 (3.11)
キャリア教育	自分の役割を考えよう	運動会で役割を果たそう			自分の仕事を見直そう							玉里保育所と交流しよう
ボランティア教育		運動会のお知らせをしよう			お手紙をだそう		学習発表会のお知らせをしよう		年賀状を出そう			
健康教育	自分の体を知ろう	自分の体を知ろう						自分の体を見直そう				
地域交流		運動会で江刺基句を踊ろう 基句/ハレードに参加しよう				三世代で交流しよう 玉里地区敬老会に参加しよう					玉里保育所と交流しよう	
支援校との交流									リンゴをおくろう お米をおくろう			
復興副読本の活用	高:「そのとき、どうする?」 (特別活動) 低:「そのとき、どうする?」 (特別活動)	高:「20キロ圏内から来たキティ」(道徳) 低:「はるかのひまわりロード」(道徳)	高:「地域のみんなで助け合おう」(社会) 高:「未来のために一玉つの提案」(社会)		高:「道野にまごころが集まった」(ボランティア教育)		高:「みんなのくらしがよくなるために」(道徳)	高:「日本の主な災害」(理科)	高:「1年間やり切った入浴支援」(道徳)	高:「三人の絆」(道徳・特別活動)	高:「多くの命を救った防災無線」(3.11東日本大震災) 高:「2011年3月11日東日本大震災」(防災教育)	高:「かえってきたいらっしやいませ」(防災教育) 低:「2011年3月11日東日本」(防災教育)

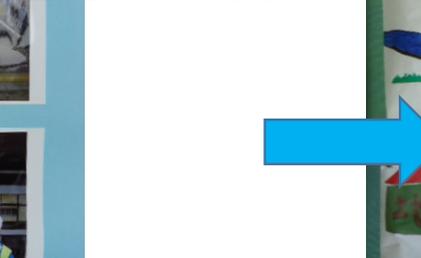
平成27年度 いわたの復興教育副読本活用計画(小学校低学年)						
低学年						
3つの教育的価値	具体の21項目との対応	ページ	教材名	学年	活用教科・領域・日常活動	活用の仕方
いきる	①	4～5	生き残ったイトヨ	1年	道徳「生命尊重」	補助飼料として活用
	③	6～7	家族のみんなに よろこんでもらったよ	1・2年	生活科「お手伝い大作戦」	家族との関わりで導入として活用
	④	8～9	「ゆめ先生」がつかえたこと	2年	生活科「お手伝い名人」	キャリア教育の意識づけとして活用
	⑤	10～11	走れ、かまいしキッチンカー			
	②	12～13	しぜんとともに	2年	生活科「地域とのかかわり」	町探検 いわたの町を知るとして活用
	①	14～15	はるかのひまわりロード	2年	道徳「自然愛護・生命尊重」	支援校 越喜来小学校へのプレゼント 補助資料
	⑥	16	つらいとき、かなしいとき、どうする？	1年	学級指導	心のアンケート時に活用
	⑥	17	絵をかいてみよう			
かかわる	⑦	18～19	友だちや家族と遊ぼう	1・2・3年	行事「三世代間交流」 道徳「友情」	友情・発展として
	⑨	20～21	作文 ありがとうおまわりさん	2年	行事「交通安全教室」 ボランティア教育	事前・事後指導として 勤労感謝の手紙
	⑩	22～23	思いやりの心 ―友だち交流	1年	道徳「思いやり」	資料活用として
	⑪	24～25	協力し合おうって、楽しい	1・2・3年	行事「ブルせいそう」	
	⑫	26～27	「まけないぞう」がつかなくずな			
	⑭	28～29	かえてきた「いらっしやいませ」	1年	道徳「勤労感謝」	資料活用として
	⑧	30～31	作文 今回の震災で感じたこと			
	⑪	32～33	ひさいした犬をセラピードッグに育てる ―国際セラピードッグ協会			
	⑩	34	今度は自分たちが			
	⑬	35	「ふるさと科」で町を元気に ―大槌町の取り組み			
	⑧	36～37	四つの教え	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前指導
	⑬	38～39	防潮堤を見て学ぶ ―宮古市田老			
	⑭	40～41	津波を乗り越えて ―奥尻島			
	⑨	42～43	「論語」に親しもう	1・2・3年	音読集会	
そなえる	⑮	44～45	2011(平成23)年3月11日 東日本大震災	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前指導
	⑰	46～47	岩手のおもなさいがい	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前指導
	⑯	48	地震のしくみとひがい	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前指導
	⑯	49	津波のしくみとひがい			
	⑯	50	火山ふん火のしくみとひがい			
	⑯	51	台風のしくみとひがい	1・2・3年	学級活動 登校指導	1学期 安全教育として活用
	⑯	52	急な大雨・かみなり・たつまき	1・2・3年	学級活動 登校指導	1学期 安全教育として活用
	⑯	53	大雪とそのひがい	1・2・3年	学級活動 登校指導	2学期 安全教育として活用
	21	54～55	放射線をへらす活動 たらちねの会			
	⑳	56～57	みんなで、ぼうさい力を高めよう	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前・事後指導として活用
	⑲	58	きん急地震速ほう	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前・事後指導として活用
	⑳	59	ショートくん練をやってみよう	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前・事後指導として活用
	⑳	60～62	そのとき、どうする？	1・2・3年	行事「避難訓練」 下校訓練	事前・事後指導として活用
	⑱	63	ライフラインって何？	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前・事後指導として活用
⑳	64	家族で地震にそなえましょう	1・2・3年	行事「避難訓練」	事前・事後指導として活用	

いわての復興教育副読本活用シート(小学校高学年用)				【名前】	
高学年					
3つの教育的価値	具体の21項目との対応	ページ	教材名	学年 活用教科・領域・日常活動	活用の仕方
いきる	⑤	4～5	三陸鉄道のたたかい	4・5・6年 道徳「尊敬感謝」「不撓不屈」	授業のまとめとして価値づけ
	③	6～7	「もっこ」で弁当配達	4・5・6年 道徳「尊敬感謝」「役割の自覚と責任」	授業の導入として活用
	④	8～9	夢、勇気を持って一歩踏み出そう	4・5・6年 道徳「目王目立」「個性伸長」 総合「卒業文集」	授業のまとめとして価値づけ
	①	10～11	20キロ圏内から来たキティ	4・5・6年 道徳「生命尊重」「動物愛護」	補助資料として活用
	②	12～13	海人の心	4・5・6年 総合「伝承活動」	補助資料として活用
	③	14～15	1年間やり切った入浴支援	4・5・6年 総合「社会奉仕」	ボランティア活動、支援活動の広がり資料として活用
	⑤	16～17	みんなのくらしがよくなるために	4・5・6年 道徳「郷土愛」	授業の導入として活用
	⑥	18～19	呼吸法で心のケア	4・5・6年 学級活動	心と体の健康観察時に活用
	⑦	20	「チャレンジデー」に挑戦 陸前高田市	4・5・6年 学級活動	心と体の健康観察時に活用
	⑦	21	手軽な運動、ストレッチ	4・5・6年 学級活動	心と体の健康観察時に活用
かかわる	①	22	多くの命を救った防災無線	4・5・6年 行事「避難訓練」	授業の導入として活用
	⑨	23	二人二脚二輪	4・5・6年 ボランティア教育	地域と防災として導入
	⑧	24～25	次の日は倍に笑おう	4・5・6年 道徳「家族愛」	補助資料として活用
	⑩	26	強くなってください。そして笑顔でいてください	4・5・6年 道徳「愛校心」「国際理解と親善」	補助資料として活用
	⑬	27	地域のみんなで助け合う	4・5・6年 防災教育	授業の導入として活用
	⑪	28～29	遠野に「まごころ」が集まった	4・5・6年 ボランティア教育	活動の発展・価値づけとして活用
	⑩	30～31	人々をつないだ歌声	4・5・6年 ボランティア教育	活動の発展・価値づけとして活用
	⑪	32	まごころを運ぶバス	4・5・6年 ボランティア教育	活動の発展・価値づけとして活用
	⑭	33	町を元気にするために、高校生サミット	4・5・6年 道徳「創意工夫」	補助資料として活用
	⑭	34～35	未来のために —5つの提言	4・5・6年 児童会活動	地域活動へのひろがり
そなえる	⑧	36～37	三人の絆	4・5・6年 道徳「希望」	補助資料として活用
	⑬	38～39	高校生が地域にかかわる	4・5・6年 キャリア教育	補助資料として活用
	⑫	40～41	世界がぜんたい幸福にならないうちは	4・5・6年 国語「やまなし・宮沢賢治」	学習資料として活用
	⑮	42～43	2011(平成23)年3月11日 東日本大震災	6年 理科「地形の変化」	学習資料として活用
	⑰	44～45	日本の主な災害	6年 理科「地形の変化」	学習資料として活用
	⑮	46～47	地震のしくみと被害	6年 理科「地形の変化」	学習資料として活用
	⑮	48	津波のしくみと被害	6年 理科「地形の変化」	学習資料として活用
	⑮	49	火山噴火のしくみと被害	5年 理科「天気」	学習資料として活用
	⑮	50	台風のしくみと被害	5年 理科「天気」	学習資料として活用
	⑮	51	急な大雨、雷、竜巻	5年 理科「天気」	学習資料として活用
そなえる	⑮	52	大雪とその被害	4・5・6年 情報教育 行事「避難訓練」	学習資料として活用 避難訓練事前指導として活用
	⑰	53	正確な情報の発信・収集・判断	4・5・6年 行事「避難訓練」	避難訓練事後指導として活用
	⑰	54	緊急地震速報 —ゆれが来る前に地震波をキャッチ！	4・5・6年 行事「避難訓練」	避難訓練事後指導として活用
	21	55	とっさの判断と行動 —ぐらっときたら、こうしよう	4・5・6年 行事「避難訓練」	避難訓練事後指導として活用
	⑳	56	防災力を高めよう —ショート訓練のすすめ	4・5・6年 行事「避難訓練」	避難訓練事後指導として活用
	21	57	応急手当のしかた	4・5・6年 集団下校訓練	事前指導として活用
	⑳	58～60	そのとき、どうする？	4・5・6年 集団下校訓練	事前指導として活用
	⑱	61	大きな災害ではライフラインがとまる	4・5・6年 総合「防災マップ」 社会「安全なくらし」	授業の発展として家庭や地域に提案
	⑳	62	家族会議を開こう —わが家はだじょうぶ？	4・5・6年 総合「防災マップ」 社会「安全なくらし」	授業の発展として家庭や地域に提案
	⑳	63	家族といっしょに防災マップをつくらう	4・5・6年 総合「防災マップ」 社会「安全なくらし」	授業の発展として家庭や地域に提案
⑳	64	地域の避難訓練に参加しよう	4・5・6年 総合「防災マップ」 社会「安全なくらし」	授業の発展として家庭や地域に提案	

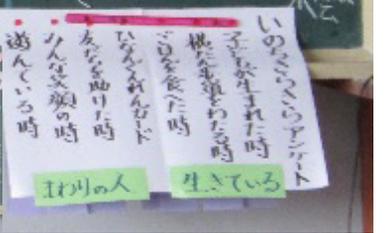
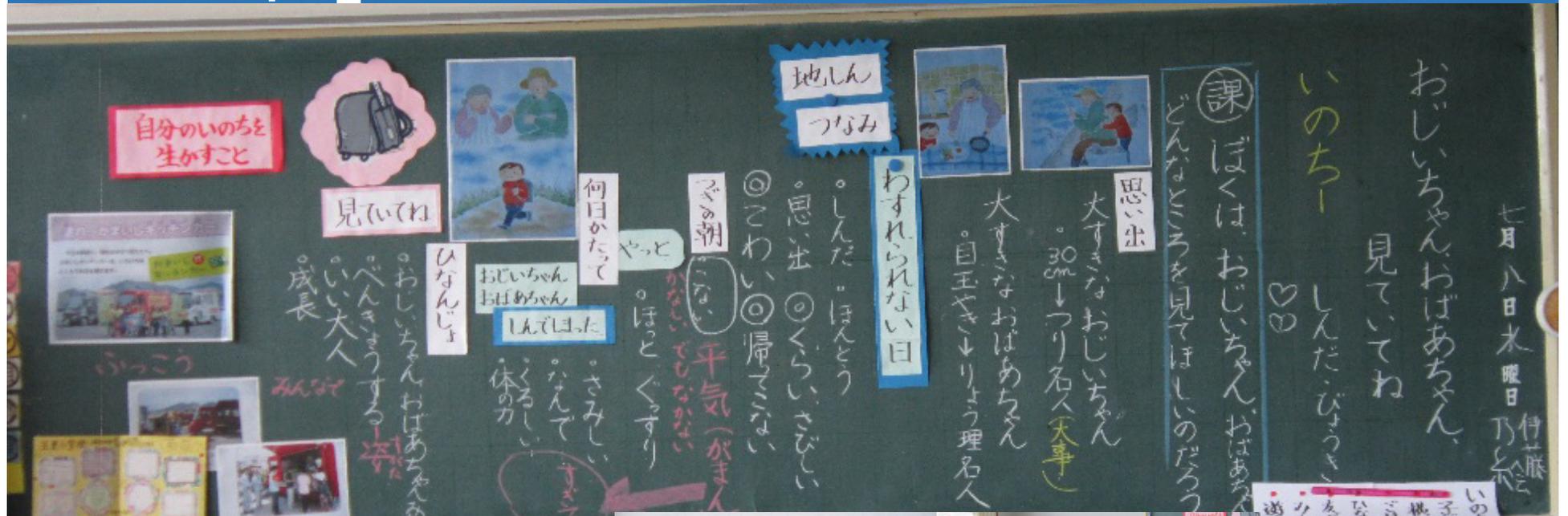
3 各教科・領域との関わりと

復興教育副読本の活用

4年生 社会科「安全なくらしとまちづくり」 玉里地域安全マップをつくろう



3年生 道徳「おじいちゃんおばあちゃん見ていてね」



6年生 特別活動「修学旅行 東松島」



津波のしくみと被害
東日本大震災では、地震発生から30分あまりで、高さ5mから15mもの大きな津波が押し寄せ、多くの命と財産を奪った。

地震のしくみと被害
日本は「地震大国」といわれています。近年だけでも、1995（平成7）年

2011（平成23）年3月11日 東日本大震災
この日、宮城県沖から茨城沖沖の広い範囲を震源域としてマグニチュード9の大きな地震が起こりました。この地震では大きな津波が発生し、太平洋側の沿岸をおそいました。岩手県でもさまざまな被害が発生しました。

火山噴火のしくみと被害
火山とは、マグマ（固まった岩石）が地球の表面にふき出してできた山のこ

東北地方太平洋沖地震では、北アメリカプレートと太平洋プレートがぶつかって、たまたま起こって、パリッ、パ

復興教育副読本 P42, 46, 48

4 防災教育・安全教育と 復興教育副読本の活用

防災教育講演会とワークショップ



復興副読本活用防災ワークショップ

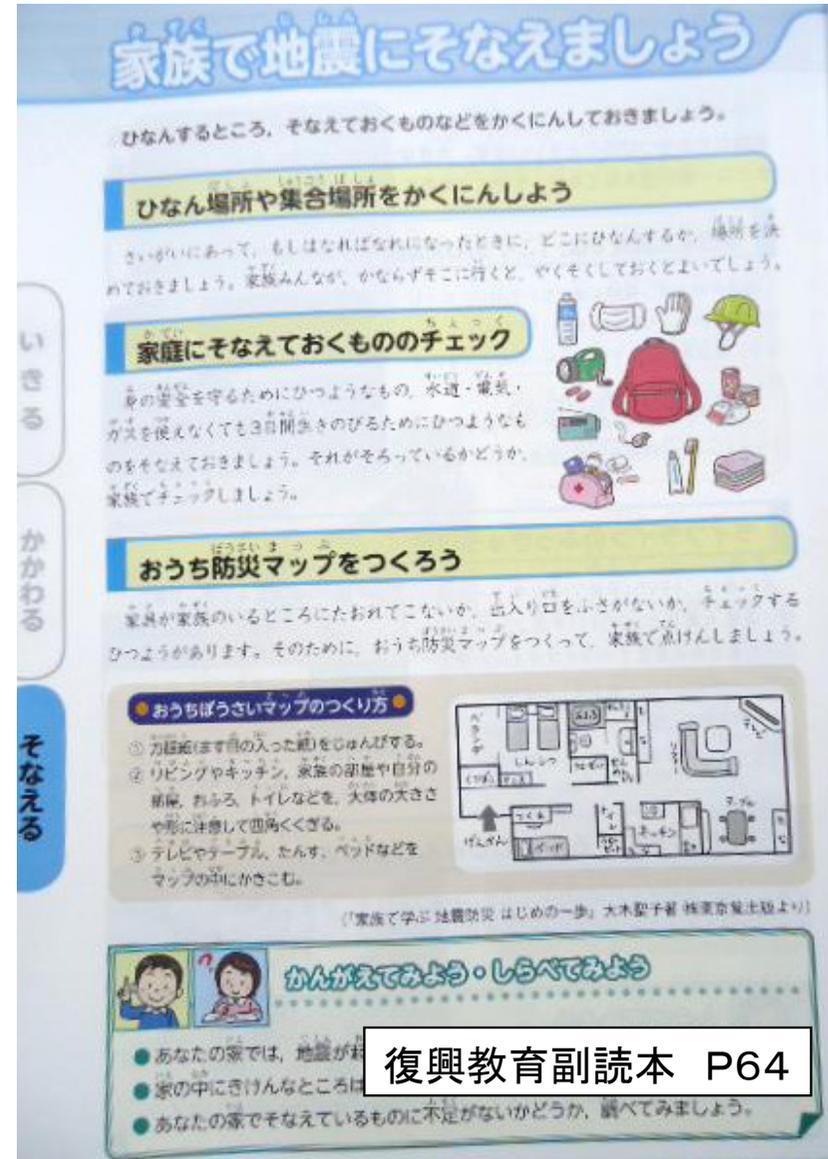


復興教育副読本 (低学年)を使って

家族で地震に備えよう

1 おうち安全マップをつくろう

2 家庭でそなえるものを考えよう



【家族で地震にそなえましょう ワークシート①】

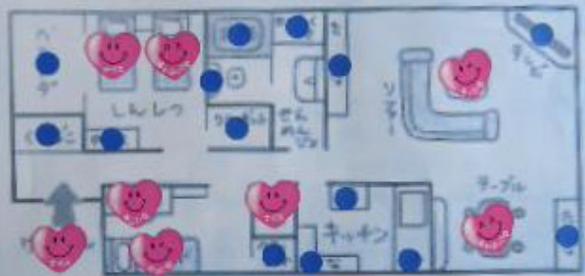
4区 (中央・青森 地区)

1 おうち防災マップをつくろう

*地震が起きたとき、危険な所をチェックしましょう。

●危険な所には、「危険」シールをはりましょう。

○安全な所には、「安全」シールをはりましょう。



『震災防災 はじめの一步』大木聖子著 (株)東京堂出版より)

2 危険だと思った所をどのようにしたらよいでしょうか。

・おまわり、物の位置も変える、整理せいで入る、大木聖子の防災マップ

・ハザードマップ、おしりいへん

・

【家族で地震にそなえましょう ワークシート②】

4区 (中央・青森 地区)

1 家庭でそなえておくものを考えましょう。



① 身の安全を守るためのもの。

- ・懐中電灯、ぼうし、いす、かみ、おしり、おしり、おしり
- ・懐中電灯、ラジオ、おしり、おしり、おしり、おしり
- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり
- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり



② 水・電気・ガスがなくても、三日間生きのびるために必要なもの。

- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり
- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり
- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり
- ・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり

2 他の地区の発表を聞いて、防災について考えたことは何ですか。

・おしり、おしり、おしり、おしり、おしり、おしり

・

避難訓練



復興教育副読本 P60～63

<p>道徳的価値への気づき</p>	<p>学級活動 5月、9月、2月 本時のねらい:地震や火災が起きた場合の状況を捉えさせることにより安全に避難するための方法を理解させる。 課題把握:これまでの避難訓練の反省点や様子を振り返る。 課題追究:地震や火災の避難の仕方や意識について考える。まとめ:避難の仕方をまとめ、各自のめあてを決める。地震や火災の際の避難の仕方について考えよう。</p>	<p>主な指導と留意点 前年度・本年度の避難訓練に関する反省事項を職員で共通理解し、今回の計画に生かす。 児童の実態把握と目標の設定</p>
<p>活動・体験</p>	<p>避難訓練 5月、9月、2月 ねらい:地震後の出火という想定において、事前の学習に基づいて行動し、安全な避難について体験を通して理解させる。基本的な流れ 1避難 2校長先生のお話 3安全担当からの講評 *煙道体験や休み時間想定の避難については、内容を変更する。 指導の重点 低学年:避難誘導のアナウンスを聞き、教師の指示に従い自分の安全を確保しながら避難する。 中学年:二つの災害における避難方法の違いを理解し、他の安全確保しながら避難する。 高学年:二つの災害における避難方法の違いを理解し、自分の安全確保しながら避難する。</p>	<p>避難訓練の概要についての提示方法の検討 各自のめあて設定と評価</p>
<p>道徳的判断力・実践力育成</p>	<p>道徳の時間 ねらい:生命の大切さを理解し、大切にしようとする心情を育てる 課題把握:主人公がとった行動を考える。 道徳的価値の追究:資料を読み、話し合う。道徳的実践力の育成:自分を振り返り、見つめ直す。まとめ:自他の命を大切に、守っていこう。 ～が～したのはなぜか、考えよう。</p>	<p>生命尊重に関する児童の実態把握と資料の設定 道徳的価値の追究と判断力・実践力育成 個人の振り返りによる道徳的実践力育成</p>



集団下校訓練







5 日常活動と復興教育副読本の活用

7・8月 復興・防災教育計画

1 ねらい

- ア 復興副読本の活用を通して、児童の復興・防災への意識付けを図る。**合い言葉は「まぜごはん」。**
- イ 集団下校訓練において自主的な判断による避難の場を想定し、児童の防災に対する関心を高める。

2 内容

ア 復興教育の推進

- ① 年間指導計画（7・8月）
- ② 副読本の活用

ア 毎月11日は、「復興・ねえよんでー」

- ・朝読書を推進する中で、復興副読本を読む機会を設け、岩手の復興や沿岸地域に関心をもたせる。
- （高）自力で読む。（低）読み聞かせをする。

・11日前後に復興に関わる授業を意識的に行う。

道徳・理科・生活科・社会科等で活用

イ 集団下校訓練の事前事後指導として活用

イ 集団下校訓練時に行う自主避難

- 安全担当から提案を基に集団下校訓練を行う。震度5弱の地震を想定して、各地域で避難の仕方を考えさせる。
- 最終的な目的は、「帰宅する。家族の基に戻る。」

項目	7月	8月
主な行事	宿泊学習(5年) とも学び(6年) 集団下校訓練(全校) 1学期終業式	2学期始業式 水泳記録会 着衣泳(全校)
各教科指導	とも学び「東中学区の友達と一緒に学習しよう」 の地震を想定して、各地域で避難の仕方を考えさせる。	体育「着衣泳で自分の命を守ろう」
道徳教育	白神山地4ー(7)郷土愛	
総合的な学習の時間	自転車大会で地域の方とふれあおう	甚句練習を通して地域の伝統を学ぼう
特別活動	集団下校訓練の注意点(SH)	夏休みの生活を考えよう
防災教育	集団下校訓練で安全に下校しよう	家の中でできる備えを考えよう
キャリア教育	家族のためにできる自分の仕事をしよう	自分の仕事を見直そう
ボランティア教育	暑中見舞いを出そう	アップルホームの夕涼み会に参加しよう
健康教育	暑さに負けない自分の体をつくろう	自分の生活を見直そう
支援校との交流	りんご・米の世話をしながら計画を立てよう	
復興副読本の活用	「おうち防災マップをつくろう」(家庭)	「地域防災マップをつくろう」(子ども会)

朝読書 毎月11日は「復興・ねえよんでー」



6 復興教育副読本の活用を振り返って

成果

- 1 復興教育副読本を活用場面を工夫することによって、教科・領域と復興教育を関連づけて指導することができた。
- 2 避難訓練や集団下校訓練では、復興教育副読本を用いて事前指導することにより、地域と「かかわる」防災を意識して「そなえる」等、実践的態度を育てることができた。
- 3 防災講演会とワークショップを関連させ、家庭や地域でできる防災を親子で考え判断する機会ができた。復興教育副読本をワークシートにした。



6 復興教育副読本の活用を振り返って

課題

- 1 日常的に活用するために、読書の時間に利用する計画を進める。
- 2 教科・領域、行事などで活用する場合、事前事後、主教材的・副教材的な扱い等、目的に照らした活用を工夫していく。
- 3 発展的に活用する内容や方法を検討していく。



平成27年9月30日(水)4・5・6年生
陸前高田復興学習に出発！



支え 支えられ つながっていく
ひとづくり